

自治体版タイムライン策定勉強会 説明資料

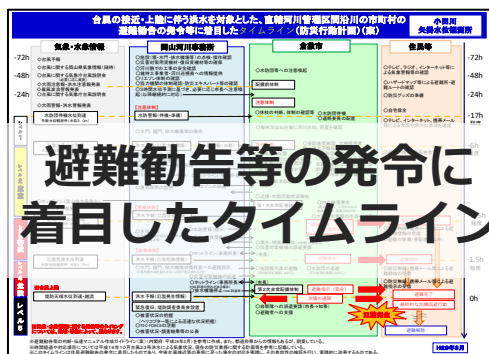
勉強会のスケジュール

時間	勉強会内容
11 : 00	1. 開会
11 : 00～11 : 10	2. 自治体版タイムラインの作成経緯・目的
11 : 10～11 : 50	3. 自治体版タイムライン策定事例の紹介 (1) 自治体版タイムライン作成手順 (2) 久米南町、美咲町における策定事例の紹介 (3) 久米南町、美咲町のタイムラインの紹介
11 : 50～12 : 00	4. 質疑応答
12 : 00	5. 閉会

2. 自治体版タイムラインの作成経緯・目的

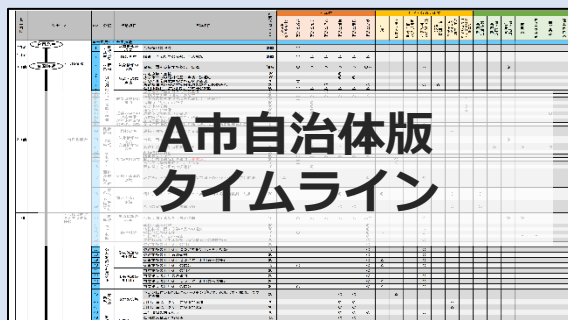
自治体版タイムラインの作成推進の経緯

- 平成30年7月豪雨災害を受け、水系内の水害対応に**関連する機関が情報を共有しスムーズな連携**を行うことを目指した、**各河川水害タイムライン**を作成。
- 一方で、各河川水害タイムラインだけでは、**自機関の対応が網羅できていない**ため、**各河川水害タイムラインを活用しづらい**といった課題が寄せられた。
- また、平成30年7月豪雨においては、**庁内連携に関する教訓**（福祉避難所に係る部局間の連携、本部と区本部、各部で決定する事項が不明確等）も明らかになった。
- このため、各自治体内の水害対応における**関係部署間の連携の見える化**を行うことを目指した自治体版タイムラインの作成の取り組みを進める。



避難対応・水防活動
が中心

庁内連携の強化



自治体が行う防災対応全般
(自治体の防災対応に係る部局の
対応全般を整理)

多機関連携の強化

吉井川・高梁川・旭川
水害タイムライン

多機関に係る防災対応
が中心

令和6年度 自治体版タイムラインの作成状況

済：作成済、▲着手中、△検討中、□：支援があれば作成、×：作成の予定はない

自治体	作成状況	備考
岡山県	済	R4・R5・R6アンケート (危機管理課)
岡山市	済	R4・R5・R6アンケート (現在の旭川水害タイムライン)
倉敷市	△	R4・R5アンケート (総務局危機管理課)
津山市	▲	R4・R5・R6アンケート (防災担当)
玉野市	済	R4アンケート (危機管理課) オブザーバー
笠岡市	▲	R4アンケート (危機管理課)
井原市	済	R4・R6アンケート (危機管理課)
総社市	未回答	
高梁市	済	R4・R6アンケート (防災復興推進課)
新見市	済	R4・R6アンケート (総務課危機管理室)
備前市	済	R4アンケート (危機管理課)
瀬戸内市	△	R5・R6アンケート (防災担当)
赤磐市	済	R4・R5アンケート (くらし安全課)

自治体	作成状況	備考
真庭市	△	R4アンケート (危機管理課)
美作市	未回答	
浅口市	済	R4・R6アンケート (くらし安全課)
和気町	未回答	
早島町	×	R6アンケート (総務課)
里庄町	□	R4・R6アンケート (防災担当) オブザーバー
矢掛町	済	R5事務局へ連絡 R6アンケート
新庄村	×	R5アンケート (総務企画課)
鏡野町	済	R4アンケート (防災担当)
勝央町	▲	R6アンケート (防災担当)
奈義町	△	R4・R5アンケート (防災担当)
西粟倉村	×	R6アンケート (防災担当)
久米南町	済	R3に事務所支援のもと作成済 R6アンケート
美咲町	済	R3に事務所支援のもと作成済
吉備中央町	未回答	

■ 自治体版タイムラインの策定を推進することを目的に、令和3年度に美咲町及び久米南町で策定した**自治体版タイムラインの策定の流れ**を解説する。

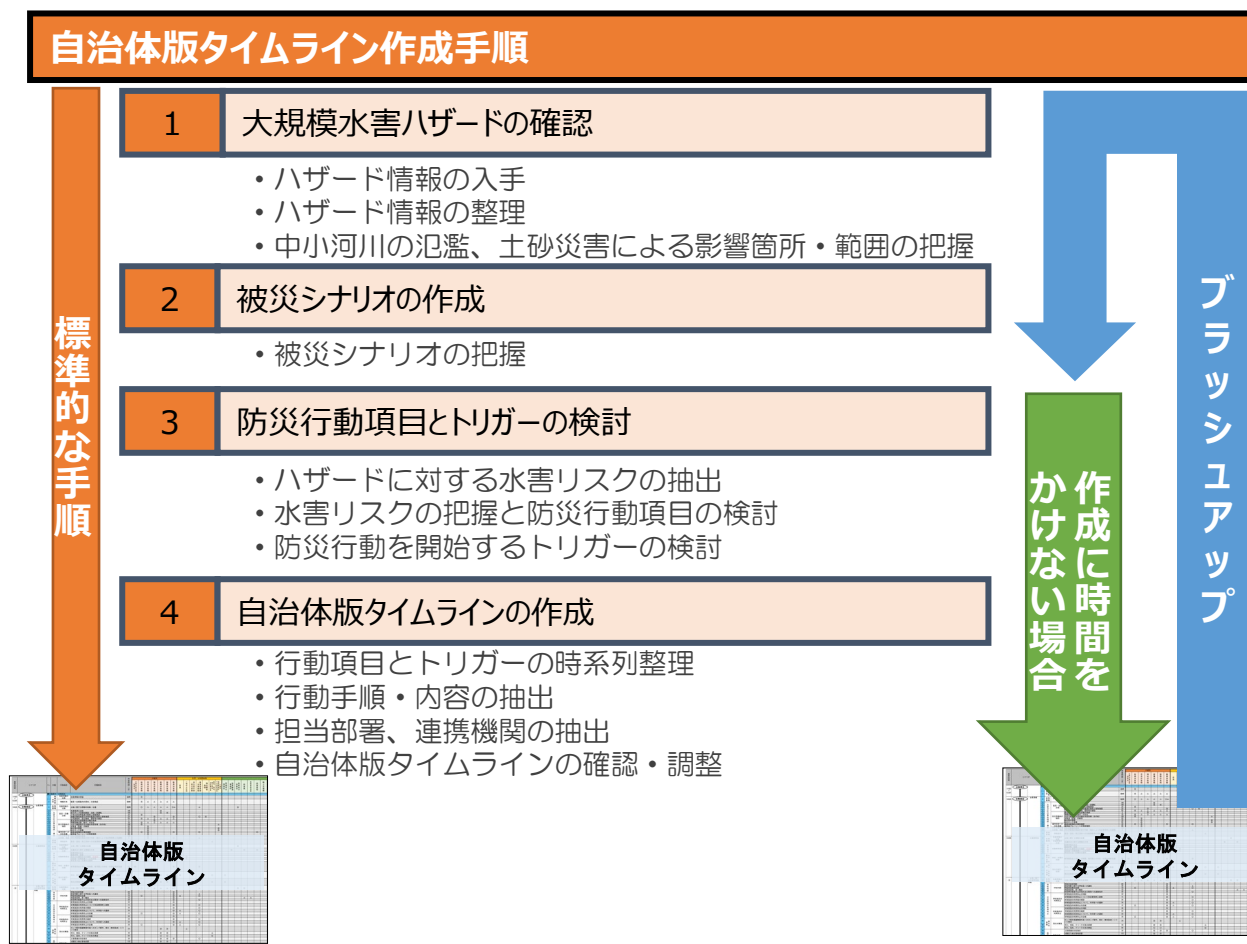
[illegible]

久米南町版タイムライン素案

3. 自治体版タイムライン策定事例の紹介

(1) 自治体版タイムライン作成手順

- ハザード情報やトリガーとなるが下流域に比べて少ない中上流域を対象に自治体版タイムラインの標準的な作成手順を示している。
- 過去水害の経験がある場合やハザードの認識が十分な場合は、「3.防災行動項目とトリガーの検討」から検討を開始し、作成に時間をかけずに自治体版タイムラインを作成し、**実運用や訓練を通じてブラッシュアップ**することも可能。

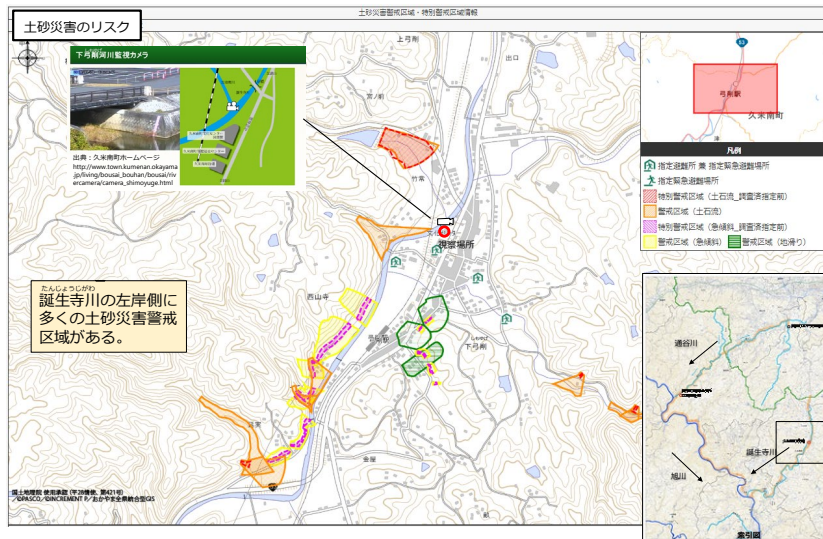


(2) 久米南町、美咲町における策定事例の紹介

久米南町

①大規模水害ハザードの確認 現地視察結果

- 久米南町役場の周辺から、誕生寺川の水害リスクの視察を実施
- この地域は浸水想定区域図がないため、地形分類図で低地に分類されており、川から近く地盤が低い地域で浸水の恐れがあることを確認



(2) 久米南町、美咲町における策定事例の紹介

久米南町

中小河川の氾濫 洪水浸水想定区域図による確認

凡例

- 中起伏山地
- 小起伏山地
- 小起伏山地
(特に起伏の小さい地域)
- 丘陵地 (I)
(大起伏)
- 丘陵地 (II)
(小起伏)
- 谷底平野・氾濫原
- 扇状地
- 河原
- その他
- 人工改变地
- 国道

下弓削河川監視カメラ



ercamera/camera_snimoyuge.ntm

水関係犠牲者のほとんどが洪水の可能性のある「低地」で発生している。※
⇒「**低地**」は洪水のリスクが高い地域

※2019台風19号による人的被害の調査
(速報2019年11月12日版) 静岡大学防災総合センター 牛山素行 より引用

たんじょうじがわ
誕生寺川は、約14kmで
高低差120m (I = 1/117) と急勾配

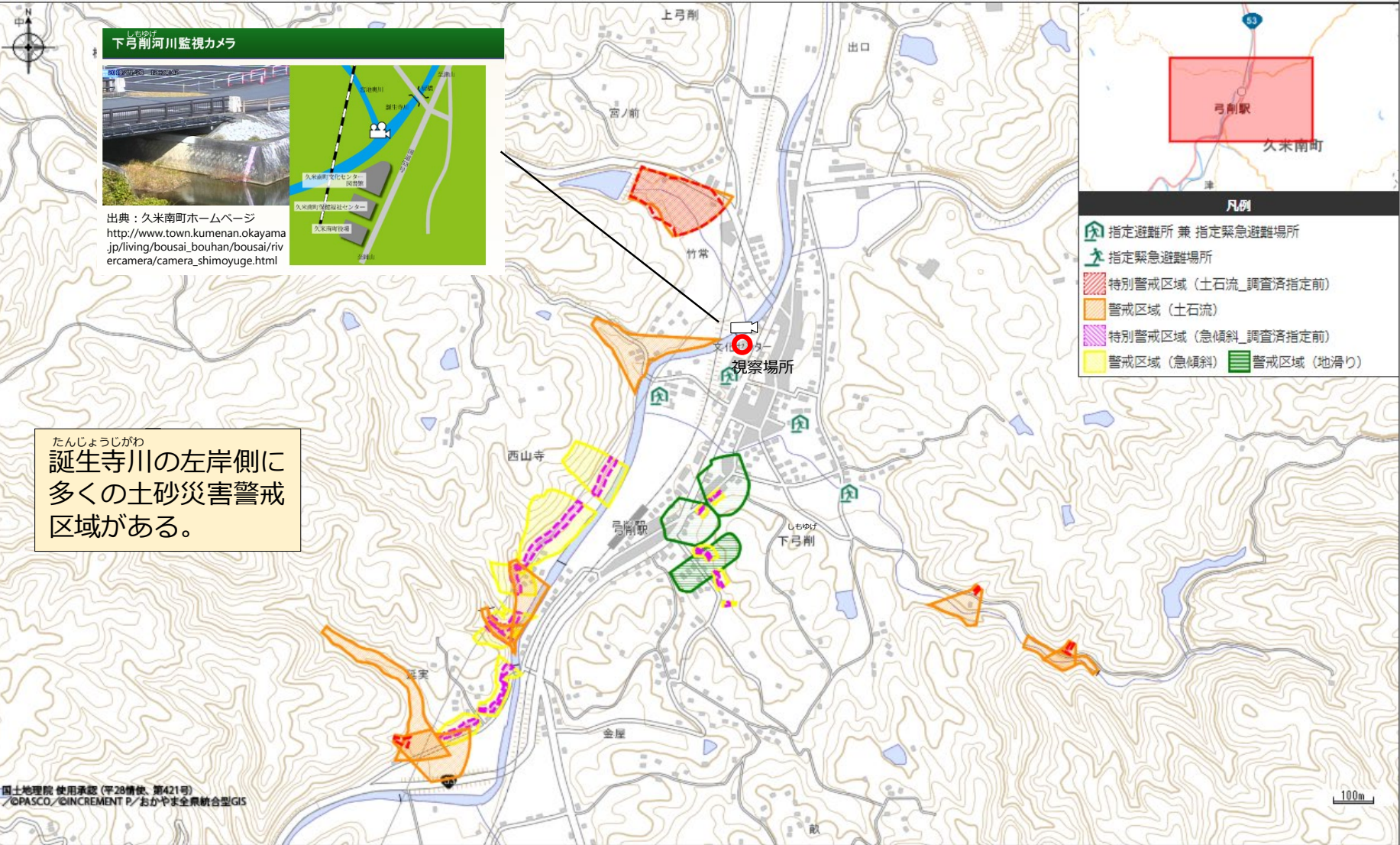
(2) 久米南町、美咲町における策定事例の紹介

土砂災害 土砂災害警戒区域等による確認

久米南町

土砂災害警戒区域・特別警戒区域情報

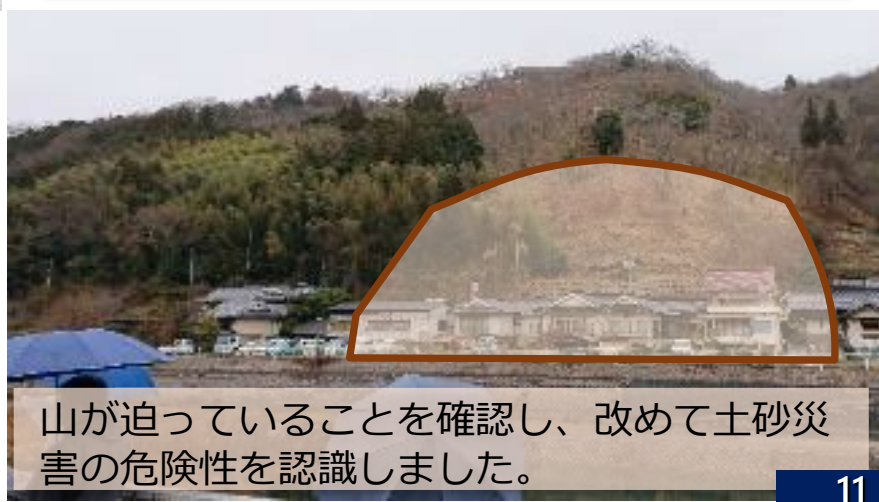
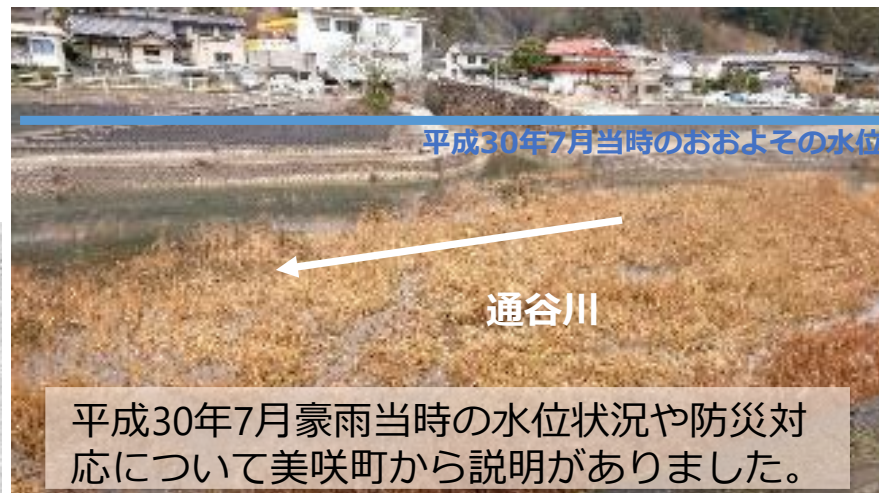
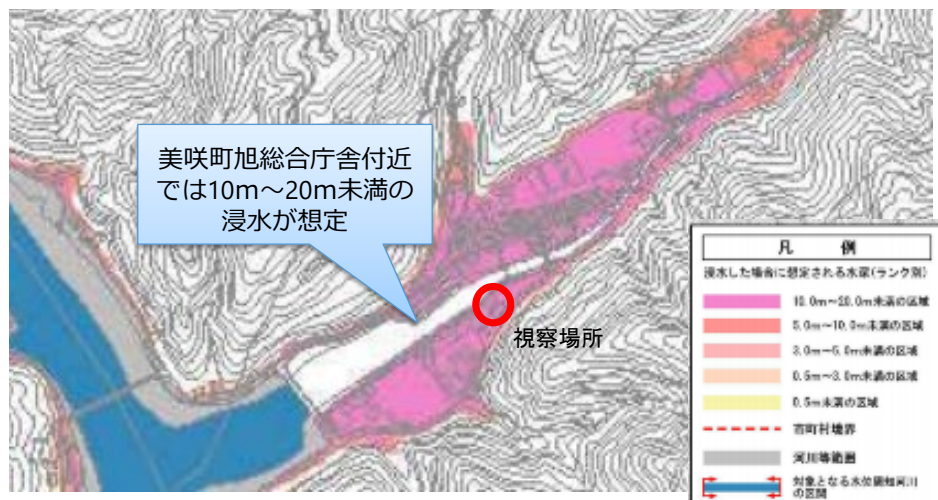
中心地 | 久米郡久米南町下弓削 付近



(2) 久米南町、美咲町における策定事例の紹介

①大規模水害ハザードの確認 現地視察結果

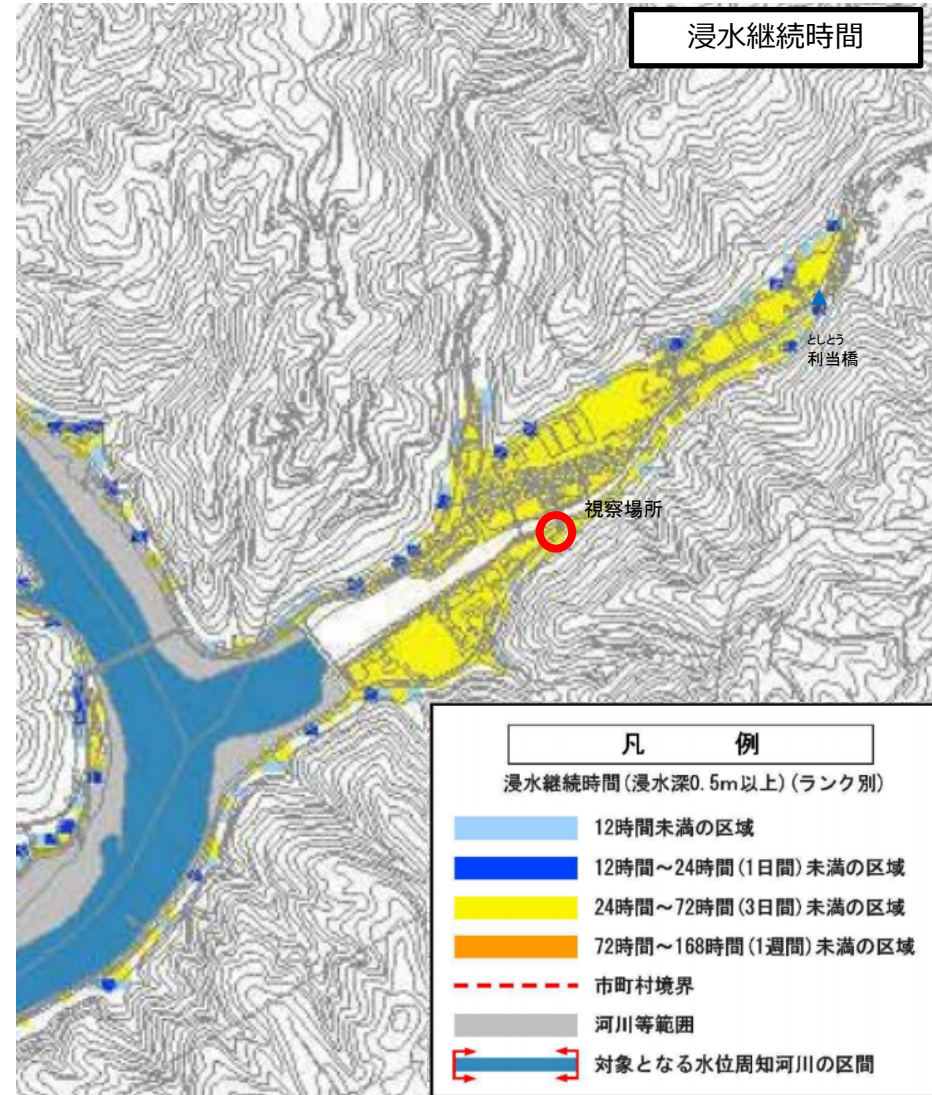
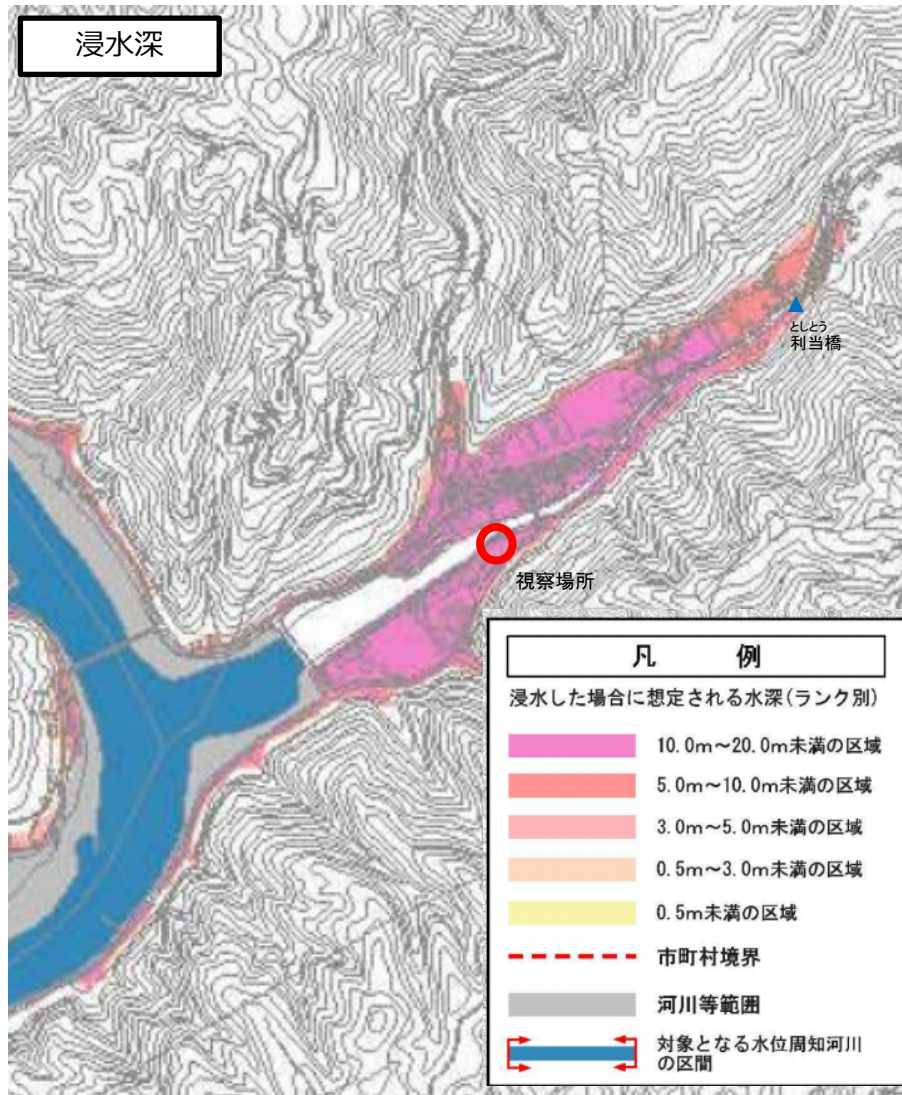
- 美咲町旭総合支所の付近から、旭川・通谷川合流部の水害リスクの視察を実施
- この地域は10m以上の浸水が想定されており、平成30年7月豪雨当時状況や本川からの背水の影響を確認
- 加えて山が迫っており、土砂災害の危険性について確認



(2) 久米南町、美咲町における策定事例の紹介

美咲町

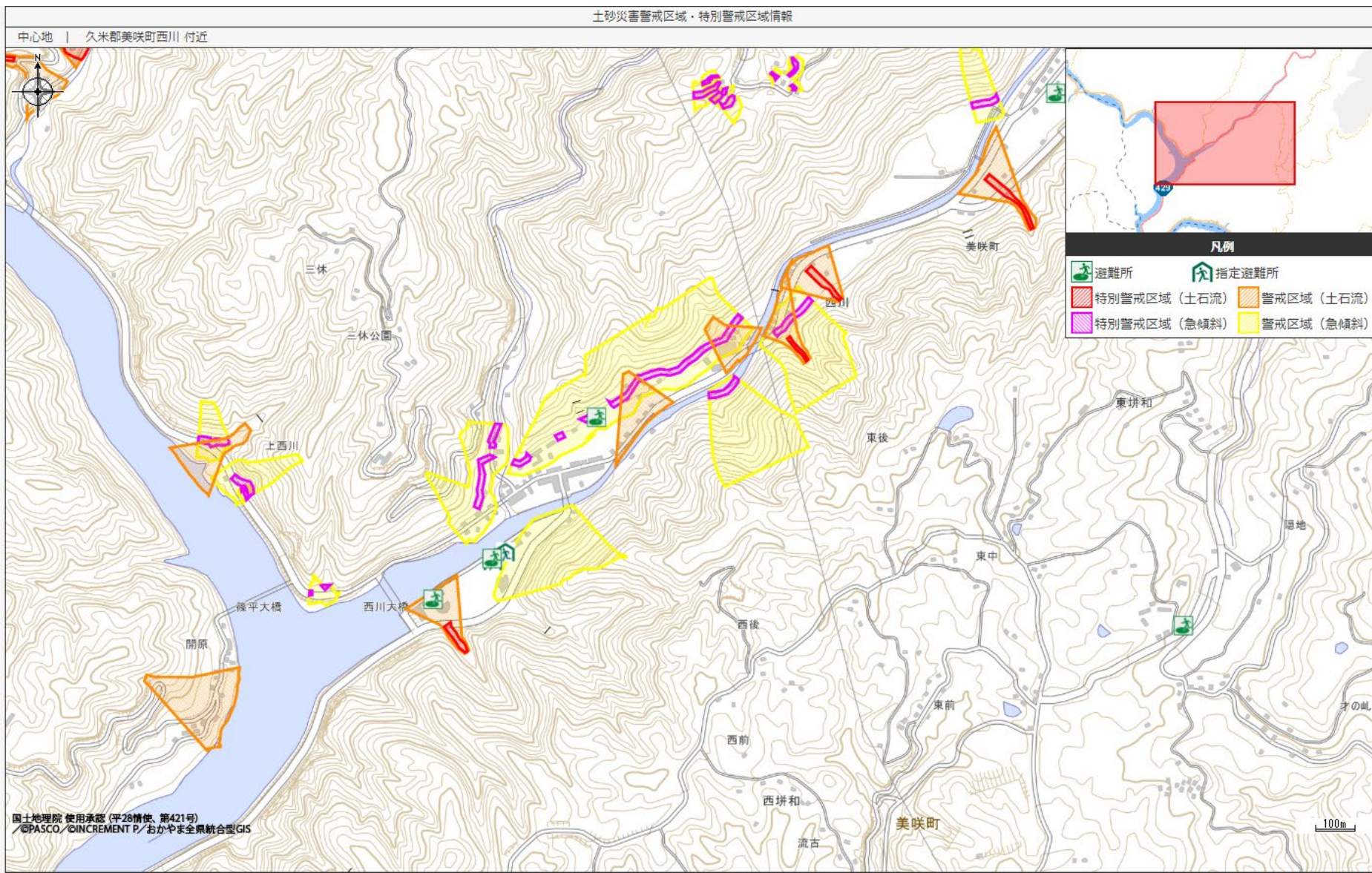
中小河川の氾濫 洪水浸水想定区域図による確認



(2) 久米南町、美咲町における策定事例の紹介

土砂災害 土砂災害警戒区域等による確認

美咲町



■ 地域の水害リスク（浸水想定区域図、土砂災害警戒区域、地形分類図等）と平成30年7月豪雨における被災シナリオを確認しながら、**避難場所や避難情報を発令するタイミング、住民を避難されるための対応**について議論



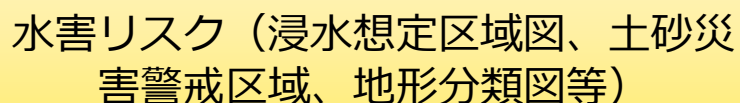
(2) 久米南町、美咲町における策定事例の紹介

②被災シナリオの確認 勉強会検討結果

平成30年7月豪雨の振り返り	今後の安全な避難に向けた対応		まとめ
	中小河川の氾濫	土砂災害	
<出水対応> ✓ 避難所を4つ開設して、避難対応を行った。 ✓ 雨量に応じて県道の事前通行規制を行った。(美作県民局) ✓ 台風が過ぎた後も警報級の雨が降ることは予想していた。7月5日の時点から情報を発信し続けた。(岡山地方気象台) ✓ 当時担当ではなかったが、国道の通行規制が主である。(岡山国道事務所) ✓ 真備の被害に対する対応が主な対応であった。(岡山LPガス協会、西日本電信電話、中国電力) <避難判断情報のタイミング、判断基準> ✓ 久米南町と県が確認できる一般公開していない観測所(現在の久米南水位観測所付近)における基準水位と、土砂災害警戒情報に避難勧告を全町域に発令した。 <課題> ✓ 全町への避難勧告だったため、ある程度地域に分けて避難勧告が発令できなかった。 ✓ 通常、道路の浸水状況を目視により確認するが、浸水箇所までたどりつけないケースがあった。(岡山国道事務所)	<リスク> ✓ 過去には誕生寺川の氾濫により国道が浸水したこともある。 ✓ 平成30年7月豪雨の際は、長雨だったが短時間に大雨が降った場合、リスクがあった。 ✓ 昨年9月の新見市での集中豪雨の場合は、予想が難しくリスクも高い。(岡山地方気象台) <避難場所> ✓ 久米南町中央公民館を想定している。ここは、過去にも浸水したことはない。状況によっては、小学校、中学校も検討 <避難情報のタイミング・基準> ✓ 短時間の雨量(10分15mm程度) ✓ 久米南水位観測所の水位(基準水位は未設定) ✓ 洪水危険度分布 ✓ 誕生寺ため池の水位	<リスク> ✓ 集中豪雨が怖い。 ✓ 道路閉塞により避難経路が絶たれる。 <避難場所> ✓ 久米南町中央公民館(土砂災害警戒区域外) <避難情報のタイミング・基準> ✓ 短時間の雨量(10分15mm程度) ✓ 土砂災害警戒情報 ✓ 土砂災害危険度分布 ✓ 行動項目として「土砂災害警戒情報の確認」「土砂災害危険度分布の確認」を追加	✓ H30年7月当時は、県と町が確認できる観測所があり基準水位も決まっていた、特に対応に困っていなかった。 ✓ しかし、現在の<u>久米南水位観測所は基準水位が設定されていない</u>ので、設定が望まれている。 ✓ <u>避難場所としては、浸水想定区域図が無い中でも、過去の氾濫実績</u>から、久米南町中央公民館としているが、状況に応じて弓削小学校や久米南中学校の避難場所開設も検討が必要となる。 ✓ 誕生寺川は、<u>流域面積が狭い</u>ので、平成30年7月豪雨のような長雨ではなく、<u>短時間で強い強度の雨に</u>対して、<u>危機感</u>を感じている。 ✓ 昨年の新見市の事例から、集中豪雨の予測は難しく、対応も難しいとの気象台からの意見もあった。 ✓ 前野アドバイザーの助言も踏まえて、<u>短時間雨量(10分15mm)に留意</u>する必要があることを認識した。 ✓ 誕生寺川の<u>上流端にある誕生寺ため池の監視</u>も重要であることが気づきとしてあった。ただ、水位計や監視カメラの設置は土地改良区のものなので調整が必要であることを認識した。

行動項目として「10分雨量の確認」「洪水危険度分布の確認」「ため池水位の確認」を追加

■ 地域の水害リスク（浸水想定区域図、土砂災害警戒区域、地形分類図等）と平成30年7月豪雨における被災シナリオを確認しながら、**避難場所や避難情報を発令するタイミング、住民を避難されるための対応**について議論



被災シナリオ（平成30年7月豪雨）



(2) 久米南町、美咲町における策定事例の紹介

②被災シナリオの確認 勉強会検討結果

平成30年7月豪雨の振り返り	今後の安全な避難に向けた対応		まとめ
	中小河川の氾濫	土砂災害	
<出水対応> ✓ 高齢者が多い（高齢者率が50%）。この避難対応がメイン。 ✓ 自治会長が避難所のカギを持っている。 ✓ 土砂による通行止め箇所を把握した。 ✓ 旭川ダムの影響は、護岸ブロックの変わり目で判断している。 ✓ 消防団は、通谷川の冠水カ所の対応。冠水カ所は決まっている。（水位計を設置予定の箇所。） <避難判断情報のタイミング、判断基準> ✓ 7月豪雨の際は、土砂災害に対して避難勧告を出した。 ✓ 地域防災計画書の基準値に達したら、本庁が発令。 ✓ 雨量基準：連続雨量、時間雨量の基準を定めている。 ✓ 土砂災害警戒情報も基準。 <課題> ✓ 自主避難者の避難状況の把握が難しい。（避難者数の確認が課題。） ✓ 気象庁と岡山県の土砂災害メッシュ情報にずれがある。 ✓ L2では、旭支所庁舎が水没する。L2に対する支所の在り方を検討中。支所移転など。 ✓ また、2次避難させるのか、あらかじめ高台へ避難させるのか、住民にL2のリスクを説明し議論する必要がある。	<リスク> ✓ 流木 ✓ R429の冠水。津山方面に避難することができなくなる。 <避難場所> ✓ L2を対象とすると高台にあるコミュニティーセンターまたは三休公園民族館しか避難がない。 ✓ ただし、避難経路に土砂災害危険箇所がある。 ✓ 消防団に避難対応をお願いする必要がある。 <避難情報のタイミング・基準> ✓ 雨の降り方に注視。 H10.10洪水の経験を踏まえ2～3時間雨量に注視している。 ✓ 行動項目として「連続雨量の確認」「時間雨量の確認」を追加 行動項目として「連続雨量の確認」「時間雨量の確認」を追加	<リスク> ✓ 土石流などによる車両の通行止め ✓ 家屋の倒壊 ✓ 道路閉塞により避難経路が絶たれる。 ✓ 流木による河川閉塞。 <避難場所> 垂直避難をする。 <避難情報のタイミング・基準> ✓ 10分雨量がどれだけ継続するかが問題。 ✓ 行動項目として「10分雨量の確認」を追加 ✓ 備考に「10分15mmの短時間雨量を観測した場合は、災害が発生することを前提に対応」と追記 ✓ 行動項目として「10分雨量の確認」を追加 ✓ 備考に「10分15mmの短時間雨量を観測した場合は、災害が発生することを前提に対応」と追記	✓ H10.10災害の経験から職員および住民ともに防災意識が高い地区。 （自主防災組織が15団体ある。） ✓ H10.10洪水では、水位計設置予定カ所の橋梁に流木が詰まり、下流の右岸側一帯が浸水した。 ✓ 地形的な要因から土砂災害のみに留意してきたようである。 ✓ 避難勧告基準を明確に決めており、基準値到達で例外なく発令している。 ✓ 通谷川は、流木による河道閉塞で浸水被害が発生したが、あまり意識はしていない。 ✓ ただし、L2の浸水想定により旭川からのリスクがあることがわかり、今後の検討課題であるという認識を持っている。 ✓ “雨量基準の確認”、“短時間雨量の確認”を行動項目として追加する。

(2) 久米南町、美咲町における策定事例の紹介

③防災行動項目とトリガーの検討

旭川水害タイムライン【詳細版】作業用

目標	時間の目安	情報・状況	対応行動					美咲町					中上流自治体			岡山地方気象台
			行動項目 (第1階層)	行動細目 (第2階層)	No	チェック	行動手順・内容 (第3階層)	くらし安全課	建設課	地域みらい課	旭支所	上下水道課	防災部局	建設部局	福祉部局	
	-72h	・3日後に台風や大雨が旭川流域に影響する恐れ	情報の収集	気象・台風情報の収集【継続】	1	☐	全般・地方・府県気象情報、台風情報、台風5日進路予報、週間予報の確認						収	収	収	
				気象警報・注意報情報の収集【継続】	2	☐	警報級の可能性の確認						収			
	-72h	・3日後に台風や大雨が旭川流域に影響する恐れ	TL立ち上げ(レベル0-1移行)の意思決定	今後の方針の検討									◎			◎
					4	☐	大雨警報の発表見込みの設定									◎
					5	☐	台風進路予測、大雨警報の発表見込み等から0hの設定						◎			○
				意思決定の周知	6	☐	防災体制のスケジュールの設定						◎			○
					7	☐	TL立ち上げ(レベル0-1移行)の周知						発	受	受	受
					8	☐	今後の方針の周知						発	受	受	受
内部調整	-72h	・3日後に台風や大雨が旭川流域に影響する恐れ	災害対策本部等の設置準備	市町村災害対策本部等の設置準備	9	☐	会議室の確保						◎			
					10	☐	連絡網の用意						◎			
					11	☐	本部設置の事前周知						発			

ワークショップ参加部署の列を追加

「いつ」

「何を・どのように」

「誰が◎・誰と・誰に○」

防災行動について

◎:主体的に行動する機関
○:それを支援または協働する機関

情報収集・伝達について

発:情報を発信する機関
収:情報を収集する機関
受:情報を受け、さらに伝達する機関もしくは情報を受ける機関

(2) 久米南町、美咲町における策定事例の紹介

③防災行動項目とトリガーの検討

- タイムラインバールの状況を事務局より説明し、レベル毎に旭川水害タイムライン【詳細版】作業用を用いて、自部署に係る防災行動項目を検討
- 地域防災計画等を参考に、防災行動項目の漏れ、抜けについてもチェック（各レベル5～10分程度で検討）

対応行動																				
項目	No	チェック	行動手順・内容 (第3階層)	美咲町				中上流自治体			岡山地方気象台	岡山河川事務所	岡山国道事務所	(社)中国電力(ダム)	岡山県土木部	岡山県危機管理課	岡山県土木部	備前県民局	危機管理室	道路港湾
				くらし安全課	建設課	地域みらい課	旭支所	上下水道課	防災部局	建設部局	福祉部局									
【継続】	1	☐	全般・地方・府県気象情報、台風情報、台風5日進路予報、週間予報の確認			収収			収	収	収		収	収	収	収	収	収	収	収
①行動項目（第1～第3階層）、中上流域自治体の役割を確認しながら自部署の役割を追記						○			◎			◎	◎		○				◎	
	4	☐	大雨警報の発表見込みの設定									◎	○							
	5	☐	台風進路予測、大雨警報の発表見込み等から0hの設定						◎			○	○							◎
	6	☐	防災体制のスケッチ																	
③行動項目の表現の修正も可能																				
②他機関と連携する場合は、連携する機関の行動項目の役割を追記																				

(2) 久米南町、美咲町における策定事例の紹介

③防災行動項目とトリガーの検討

- 災害発生の危険度の高まりに応じた、防災行動の段階を「タイムラインレベル」としている。
- タイムラインレベルは、下表を基準とし警戒レベルと整合を図った。

タイムラインレベル	警戒レベル	タイムラインレベルの基準	
		中小河川氾濫	土砂災害
レベル0-1 (3日前準備)	＝	・ 台風：3日後に台風に影響するおそれ ・ 前線：早期注意情報（警報級の可能性）【目安：3日後に影響】	
レベル0-2 (2日前準備)	＝	・ 台風：2日後に台風に影響するおそれ ・ 前線：早期注意情報（警報級の可能性）【目安：2日後に影響】	
レベル1	警戒レベル1	・ 早期注意情報（翌日までの警報級の可能性）【目安：1日後に影響】	
レベル2	警戒レベル2	・ 氾濫注意情報 ・ 洪水注意報 ・ 洪水警報の危険度分布（注意）	・ 大雨注意報 ・ 大雨警報（土砂災害）の危険度分布（注意） ・ 土砂災害危険度情報（レベル1）
レベル3	警戒レベル3	・ 氾濫警戒情報 ・ 洪水警報 ・ 洪水警報の危険度分布（警戒）	・ 大雨警報（土砂災害）危険度分布（警戒） ・ 土砂災害危険度情報（レベル2）
レベル4	警戒レベル4	・ 氾濫危険情報 ・ 洪水警報の危険度分布（非常に危険）	・ 土砂災害警戒情報 ・ 危険度分布（非常に危険、極めて危険） ・ 土砂災害危険度情報（レベル3、4）
レベル5	警戒レベル5	・ 氾濫発生情報 ・ 大雨特別警報	・ 大雨特別警報

(2) 久米南町、美咲町における策定事例の紹介

③防災行動項目とトリガーの検討

- タイムラインレベルの状況は、訓練用動画で確認することも可能

国土交通省中国地方整備局
岡山河川事務所 Okayama River Management Office

吉井川・旭川・高梁川水害タイムライン

トップページ | タイムラインの概要 | 検討会の開催状況 | タイムライン引継ぎツール | タイムラインに関する質問 (Q&A)

新着情報

- ・2023.6.23、7.4、7.13 ウェビナーを開催しました。(開催概要、基礎コース、活用コース)
- ・2023.6.16 吉井川・高梁川第15回、旭川第23回水害タイムライン検討会を開催しました
- ・2023.3.13 吉井川・高梁川第14回、旭川第22回水害タイムライン検討会を開催しました
- ・2023.1.12 吉井川・高梁川第13回、旭川第21回水害タイムライン検討会を開催しました

タイムラインにより、住民の経済被害の最小化を目指す

吉井川水害タイムライン | 旭川水害タイムライン

タイムライン解説動画【活用編】

出水期前やタイムライン発動時にタイムラインの運用方法を確認して頂く場面でご利用いただけます。

- ・タイムラインの運用方法
- ・タイムラインの活用方法、タイムラインの習熟に向けて

タイムライン解説動画【訓練編】

タイムラインレベル毎の状況や防災行動の全体像を確認いただく場面、タイムラインレベル毎の状況をイメージしながら実践的な訓練を実施いただく場面でご利用いただけます。

- ・タイムラインレベル0-1～0-2
- ・タイムラインレベル1～2
- ・タイムラインレベル3～5

タイムラインレベル5イメージする状況

(2) 久米南町、美咲町における策定事例の紹介

③防災行動項目とトリガーの検討

- 「体制配備基準」や「避難情報の発令基準」等、地域防災計画上に**明確な実施基準**がある防災行動項目については、**タイムライン上の防災行動項目のタイミング**が地域防災計画書と整合がはかれているか確認した。

特に確認が必要な 防災行動項目（例）

- ✓ 災害対策本部等の設置
- ✓ 水防活動の実施
- ✓ 排水施設等の操作
- ✓ 福祉避難所の設置
- ✓ 避難所の開設
- ✓ 避難情報の発令

修正例

No	チェック	行動手順・内容 (第3階層)	美咲町					中上流自治体			岡山地方気象台	岡山河川事務所	岡山国道事務所	中国電力 (社ロダム)
			くらし安全課	建設課	地域みらい課	旭支所	上下水道課	防災部局	建設部局	福祉部局				
1	☐	全般・地方・府県気象情報、台風情報、台風5日進路予報、週間予報の確認						収	収	収		収	収	収
2	☐	警報級の可能性の確認						収				収	収	収
3	☐	タイムライン内部会議(仮)の調整						◎			◎	◎		
4	☐	大雨警報の発生									◎	○		
5	☐	台風進路予測、 ら0hの設定						◎			○	○		
6	☐	防災体制のスタート						◎			○	○		
7	☐	TL立ち上げ(レ						◎	受	受	受	受	受	受

No11と12の間に移動

No11と12の間に移動

スペースがない場合は付箋紙に記載

（３）久米南町、美咲町のタイムラインの紹介

- 久米南町版タイムラインは、「情報連絡」、「避難対応」、「現地対応」に分けて行動項目の役割を整理。

久米南町版タイムライン(案)

【継続】:以降の全レベルでタイムライン体制解除まで継続する行動

 水系全体に関する項目
 複数機関が連携する項目
 個々の機関で対応する項目

[illegible]

(3) 久米南町、美咲町のタイムラインの紹介

- 美咲町版タイムラインは、平常時、防災体制配備、非常体制で分けて、行動項目の役割を整理。

美咲町水害タイムライン(令和3年度版)【詳細版】案

【継続】:以降の全レベルでタイムライン体制解除まで継続する行動

水系全体に関係する項目
複数機関が連携する項目
個々の機関で対応する項目

TL レベル	目標	時間の 目安	情報・状況	対応行動			実施状況チェック欄		役割												
				行動項目 (第1階層)	行動細目 (第2階層)	No	行動手順・内容 (第3階層)	開始 時刻	終了 時刻	執行部	防災 担当 課	担当課	防災体制配備 注意・警戒・特別警戒体制			非常体制					
													情報収集・連絡	現場確認対応	避難所開設運営						
情報収集 0-1		-72h	・3日後に台風や大雨が旭川流域に影響する恐れ	情報の収集	気象・台風情報の収集【継続】	1	☐ 全般・地方・府県気象情報、台風情報、台風5日進路予報、週間予報の確認					収									
					気象警報・注意報情報の収集【継続】	2	☐ 警戒級の可能性の確認				収										
意思決定 0-1		-72h	・3日後に台風や大雨が旭川流域に影響する恐れ	TL立ち上げ(レベル0-1移行)の意思決定	今後の方針の検討	3	☐ タイムライン内部会議(仮)の調整					◎									
						4	☒ 大雨警報の発表見込みの設定														
						5	☒ 台風進路予測、大雨警報の発表見込み等から0hの設定					◎									
						6	☒ 防災体制のスケジュールの設定					◎									
				意思決定の周知	7	☒ TL立ち上げ(レベル0-1移行)の周知					発										
					8	☒ 今後の方針の周知				◎	発										
レベル 0-1	内部調整	-72h	・3日後に台風や大雨が旭川流域に影響する恐れ	災害対策本部等の設置準備	災害対策本部等の設置準備	9	☐ 会議室の確保					◎									
						10	☐ 連絡網の用意					◎									
						11	☐ 本部設置の事前周知					発									
				水防活動の準備	資機材の準備	12	☐ 水防資機材の確認					◎									
					体制の構築準備	13	☐ 隊員の動員体制の確認					◎									
					河川敷の遊具等撤去の検討	14	☐ 遊具等撤去時期の決定					◎									
						15	☐ 受注者への準備連絡					◎									

4. 質疑応答